

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

| 分野 | 景気の現状判断 | 業種・職種 | 判断の理由 | 追加説明及び具体的状況の説明 |
|-----------------------------|--------------------|------------------------|--|--|
| 家計 動向 関連 (甲信越) | ◎ | 乗用車販売店 (経営者) | 販売量の動き | ・新型車の販売が好調で、受注が前年比で1割増加している。 |
| | ◎ | その他サービス [葬祭業] (経営者) | お客様の様子 | ・今月は依頼が非常に多い。 |
| | ○ | 商店街 (代表 者) | 販売量の動き | ・当店は4月の新入学生向けの販売が済んでしまうと一段落となるが、今年は珍しく追加注文が非常に多い。景気が余り良くない現状でも、かなりの数を買ってくれているため有り難い。 |
| | ○ | 百貨店 (経理担 当) | お客様の様子 | ・特選品、時計、宝飾、化粧品や家庭用品等が堅調に推移し、前年実績をクリアしている。6月末からのクリアランスセールとの相乗効果で衣料関連の動きも良い。 |
| | ○ | スーパー (経営 者) | 競争相手の様子 | ・前年比で売上は100%、来客数は9%減少となっている。前年4月に支店がオープンし、1年経過後の売上は4月が8%減少、5月は7%減少と減少が続いていたが、6月は100%と回復している。要因の1つは、近隣の酒店が高齢のため、当店に仕事が回ってきたことである。また、近隣大型店が閉店しその地区の仕事もかなり増えている。当社決算も終わり、前年より大分良くなっている。 |
| | ○ | スーパー (企画 担当) | 単価の動き | ・米価下落の影響もあるのかもしれないが、牛肉等の一部の高額商材に動きがある。 |
| | ○ | コンビニ (経営 者) | 単価の動き | ・各カテゴリ、特にデザート等では、より高単価な商材を選ぶ傾向がみられる。 |
| | ○ | コンビニ (店 長) | 来客数の動き | ・前月まで公共料金の支払がかなりあったが、今月もなぜか公共料金の支払をする客が非常に多い。売上に繋がれば1番よいが、なかなかそうはいかないものの、来客数は若干増えたため、その分、売上もやや増えている。 |
| | ○ | 都市型ホテル (スタッフ) | 来客数の動き | ・今月限定の話だが、大規模なコンベンションがあり、また、大規模な学会等も多く開催されたため、来客数が大きく伸長している。また、その分を差し引いても、前年よりも利用人数が増加し、良い方向に動いている。 |
| | ○ | タクシー (経営 者) | お客様の様子 | ・前年度の売上と比較した際に、若干ではあるものの増収になっている。 |
| | ○ | 通信会社 (社 員) | 販売量の動き | ・安定して新規獲得できている。人手不足が現在の課題である。 |
| | ○ | ゴルフ場 (経営 者) | お客様の様子 | ・各種資材等の不足や物価高騰などの影響による設備投資控えが懸念されていたが、徐々に緩和されてきたようである。関連事業者の客から、受注が戻ってきているという話を聞くようになっている。 |
| | □ | 商店街 (代表 者) | お客様の様子 | ・株式市場の活況がうそのような静かな6月である。ただし、インフレに対し、客の感覚がまひしてきたようである。 |
| | □ | 一般小売店 [家 電] (経営者) | お客様の様子 | ・2027年に家電の新たな省エネ基準が開始される関係で、LED照明やエアコンの動きは良いものの、前倒しの消費である。ナフサ関連で部材の入荷も厳しくなっている。 |
| | □ | コンビニ (経営 者) | 販売量の動き | ・コンビニ業界では、増量セールやフライヤー半額セールなどを行っており、その点では売上は伸びている。気温が前年より低めなこともあり、トータルすると売上はほぼ前年と同じである。 |
| | □ | コンビニ (エリ ア担当) | 来客数の動き | ・17時以降の来客数の減少が続いている。前年実績を割り込んでいる。 |
| | □ | 乗用車販売店 (経営者) | 販売量の動き | ・新車、中古車の売上は物価高の影響を受け低迷している。あらゆる物価が上がっているが、賃金が横ばいならば景気が良くなるはずはない。 |
| □ | 自動車備品販売 店 (従業員) | お客様の様子 | ・客単価が上がっているため、売上は前年実績を超えているものの、来客数は減ったままである。 | |

| | | | | |
|----|------------------------------------|--------|--|---|
| | その他専門店 〔酒〕(店長) | お客様の様子 | ・中東情勢がひとまず収束に向かいそうだが、まだどちらともいえない状況で、目まぐるしく変化している。単価の動きや資材価格も大きく上がり、今前半は非常に厳しかった。また、売上は単価が上がったこともあり、伸びているものの、内容的にはまだ分からない。余り景気が良いという感触はない。そういう意味では3か月前と同じ状況で、今後も皆、状況を見ながら行動していくとみている。 | |
| | 一般レストラン (経営者) | 販売量の動き | ・若干の動きはあるものの、期待できる要素は見当たらない。 | |
| | 旅行代理店(副 支店長) | お客様の様子 | ・物価高や不安定な原油状況が要因で、客も不安が先行し、足踏み状態である。建設業等では資材が間に合わずに業務が大幅に遅れているため、旅行の話にならない。 | |
| | タクシー運転手 | 販売量の動き | ・買物客と通院客で昼間はまずまずの動きだが、物価の上昇、特に食料品の値上げは、財布のひもが固い原因だと考えている。 | |
| | 観光名所(職 員) | 来客数の動き | ・来客数は伸びはしないが、大きく減少もしていない。国内の個人観光客が減少したまま、ツアー客やインバウンドが減少分をカバーしている状況は変わらない。 | |
| | 遊園地(職員) | 来客数の動き | ・今月は台風通過に伴う悪天候の影響を受けたが、インバウンド団体の受入れやメルマガ会員向けの取組で集客を図っている。 | |
| | ゴルフ場(副支 配人) | 来客数の動き | ・平日の来場者が減少しており、低価格料金のプレーヤーの減少が続いている。 | |
| | その他レジャー 施設〔ボウリン グ場〕(経営 者) | 来客数の動き | ・6月は祝日もなく夏休み前で閑散月ではある。梅雨に入り、降雨となれば室内施設のため集客が期待できるが、余り降雨とならず苦戦気味である。固定客や団体利用は例年どおり入っている。 | |
| ▲ | 商店街(代表 者) | 来客数の動き | ・元々来客数の少ない中心市街地の商店街だが、閉業する店がちらほら出ると、一段と悪化してしまう。 | |
| ▲ | 百貨店(営業担 当) | 販売量の動き | ・特に、食料品については値上がり品目が多いため、購入点数を少なめにする様子が見受けられる。 | |
| ▲ | 百貨店(店長) | 販売量の動き | ・6月に入り好調なイベントもあるものの、夏らしい天候が続かず、衣料品関係の動きは悪い。クリアランスセールでスタートで盛り上がりを期待するものの、セール価格で数字のばん回を目指すのはハードルが高い。 | |
| ▲ | スーパー(経営 者) | 来客数の動き | ・来客数や買上点数が増加しているのは、特売日と土日のみである。 | |
| ▲ | コンビニ(経営 者) | 来客数の動き | ・売上は前年実績を割る日が多い。物価高で客単価は上がっているものの、来客数は減少している。 | |
| ▲ | コンビニ(総務 担当) | 単価の動き | ・物価の上昇により客単価が低下している。 | |
| ▲ | 家電量販店(店 長) | 来客数の動き | ・前月のエアコン特需の影響により、来客数、売上共に低下している。 | |
| ▲ | スナック(経営 者) | 来客数の動き | ・前年比、前月比いずれも急に悪くなっている。夜の街を歩いている人がいない。物価だけが上がって賃金が上がらないことや自転車の飲酒運転の取締りが原因だと考えている。 | |
| ▲ | 観光型旅館(経 営者) | 販売量の動き | ・5月、6月は各種団体の総会等、地元団体客の需要が多い時期だが、年々こうした団体客が減少しており、今年は前年より更に60%減少している。中東情勢や物価高による社会不安のせいか、首都圏からの客も10%ほど減っている。首都圏客は売上に占める割合が大きいため、影響が大きい。 | |
| ▲ | 通信会社(社 員) | 販売量の動き | ・閑散期ではあるものの、来客数、販売共に想定以上の減少傾向である。 | |
| × | コンビニ(経営 者) | お客様の様子 | ・物価高の影響により悪くなっている。 | |
| × | その他飲食〔カ フェ〕(経営 者) | 来客数の動き | ・ターミナル駅前から人が遠のいている。 | |
| 企業 | ◎ | * | * | * |

| | | | | |
|-----------------------|-----------------------|-------------------------|--------------|--|
| 動向 関連 (甲信越) | ○ | 電気機械器具製造業（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・取引先では値上げ前の注文が増えたとのことで、生産量が急激に増えている。 |
| | □ | 窯業・土石製品製造業（経営者） | 取引先の様子 | ・特注品の生産が続いている。 |
| | □ | 電気機械器具製造業（従業員） | 受注価格や販売価格の動き | ・受注はともかく、問合せは割とある。 |
| | □ | その他製造業 [宝石・貴金属]（経営者） | 受注量や販売量の動き | ・6月初旬に開催したファミリーセールでは来場客数、売上共に前年を30%ほど上回っている。久しぶりに手応えのあった僱事である。金価格の上昇イメージがまだ残っているせいも、金製品の販売が好調である。1～6月の半期の売上は前年とほぼ同じだが、地金の高騰分を十分に価格転嫁できなかったこともあり、利益は減少している。 |
| | □ | 建設業（経営者） | 受注価格や販売価格の動き | ・受注量に大きな変化はないが、外注業者から値上げの話が出ているため、利益率に影響が出てくる。 |
| | □ | 金融業（調査担当） | 取引先の様子 | ・全体として、中東情勢緊迫化の影響による石油関連製品の供給不安や高騰が収益面に悪影響を及ぼしている。ただし、製造業では半導体関連を中心に好調な受注を維持している企業がある。非製造業では観光関連を中心に底堅さもみられ、2極化の動きが広がり始めている。 |
| | ▲ | * | * | * |
| | × | 食料品製造業（製造担当） | 取引先の様子 | ・商材価格が下がり、スーパーも客の囲い込みに必死だが、売上は伸びていない。 |
| | × | 食料品製造業（営業統括） | 受注量や販売量の動き | ・商品の納入件数が少なく、販売単価も下がっている。 |
| | 雇用 関連 (甲信越) | ◎ | — | — |
| ○ | | — | — | — |
| □ | | 人材派遣会社（営業担当） | 求職者数の動き | ・景気が不透明ななか、給料面だけで仕事を探す求職者が一段と増えている。 |
| □ | | 職業安定所（職員） | 周辺企業の様子 | ・石油化学製品を中心とした原材料の調達難や価格の高止まりから、複数の業種で受発注の停滞、業績の伸び悩みを懸念する声を聞く。中長期的には先行きを懸念した人材確保の意向がみられる。 |
| □ | | 職業安定所（職員） | 周辺企業の様子 | ・製造業は復調の兆しがある一方、人手不足が依然として制約となっている。さらに、中東情勢の不透明感が先行きを不安定にしているものの、インバウンド需要の好調等もあり、総合的にみて景気は大きく変わらない。 |
| ▲ | | — | — | — |
| × | — | — | — | |